2024年度の経営環境と業績

■農業情勢

農業を取り巻く環境は，農業従事者の減少と高齢化が進む一方で，農業法人の大規模化による農業経営の二極化が顕著となり，当会の取引先となる事業基盤が大きく変化しています。

農業経営は，慢性的な労働力不足に加え，農業生産資材価格の高止まりや，気候変動による自然災害の発生など，厳しい経営環境が続いています。そのような中，2024年５月に食料・農業・農村基本法が改正され，食料安全保障の強化や環境保全型農業など，農業の持続的な発展に向けた方向性が示されました。当会は「農業専門金融機関」として，金融面だけでなく経営分析による経営安定支援や資産・事業承継相談など，金融仲介機能の発揮による取組みを強化してまいりました。

■地域・経済情勢

地域を取り巻く経済環境は，サステナブルな社会の実現に向けて，環境負荷軽減の取組みや働き方改革が進展しており，これらの変化を適切に捉えた金融サービスの提供に対応していく必要があります。

特に，デジタル社会の実現に向けて，デジタル戦略（ＤＸ）による業務効率化や，非対面取引・キャッシュレス化が一層加速しており，組合員・利用者へのＪＡネットバンク，ＪＡバンクアプリ，通帳レス等の利用拡大に取り組みました。

■金融情勢

金融機関を取り巻く環境は，日本銀行の政策金利引き上げに伴い，国内金利が上昇し，「金利のある世界」へ移行する一方，米国では第２次トランプ政権が始動し，公約に掲げた関税政策を進めることで，経済・金融市場の不確実性が増しています。そのため，今後も国内外の金融市場の動向を注視しつつ，金利リスクを中心とした一層のリスク管理態勢強化が必要となります。

また，国際的な要請として金融機関に求められる，マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策やサイバーセキュリティ対策の強化に引き続き対応するなど，社会情勢や動向を踏まえた適切な対応が必要となります。

■主要な経営指標の推移

（単位：百万円，％）

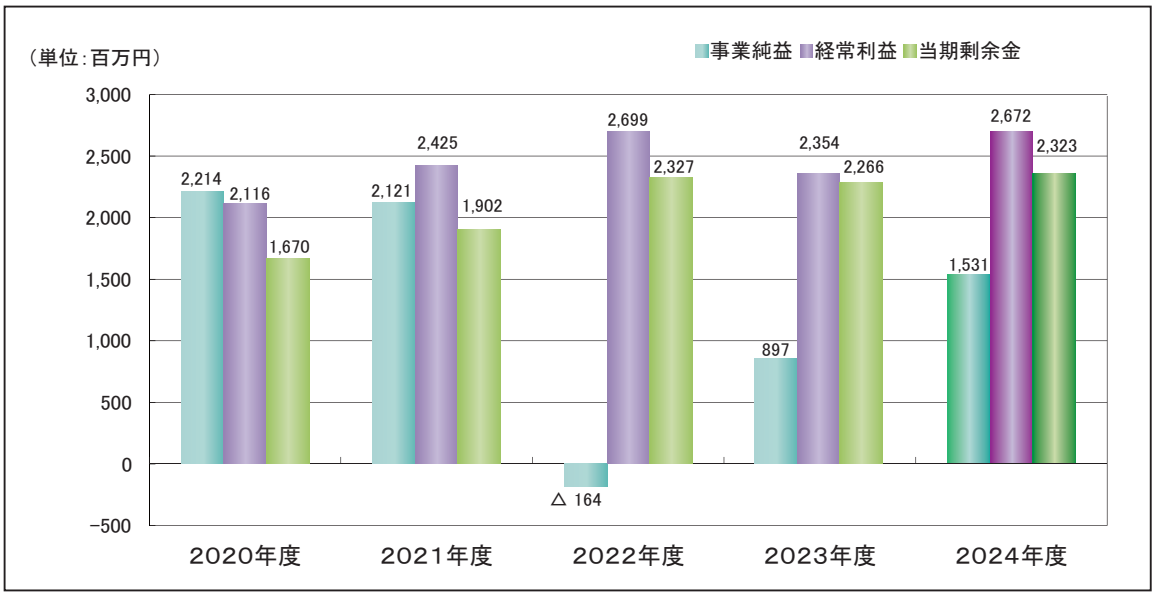
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
事業純益	2,214	2,121	△ 164	897	1,531
経常利益	2,116	2,425	2,699	2,354	2,672
当期剰余金	1,670	1,902	2,327	2,266	2,323
貯金等残高	1,480,141	1,467,791	1,468,015	1,473,568	1,446,023
預け金残高	867,857	800,001	816,139	809,628	767,805
貸出金残高	238,157	238,466	220,211	212,183	193,267
有価証券残高	500,276	508,081	458,291	459,123	464,268
単体自己資本比率	14.48	14.14	14.37	14.61	14.16

（注）1．貯金等残高には，譲渡性貯金が含まれています。
2．「単体自己資本比率」は，「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年３月28日付金融庁・農林水産省告示第２号（最終改正：令和２年３月31日付金融庁・農林水産省告示第２号））に基づき算出しています。

■損益の状況

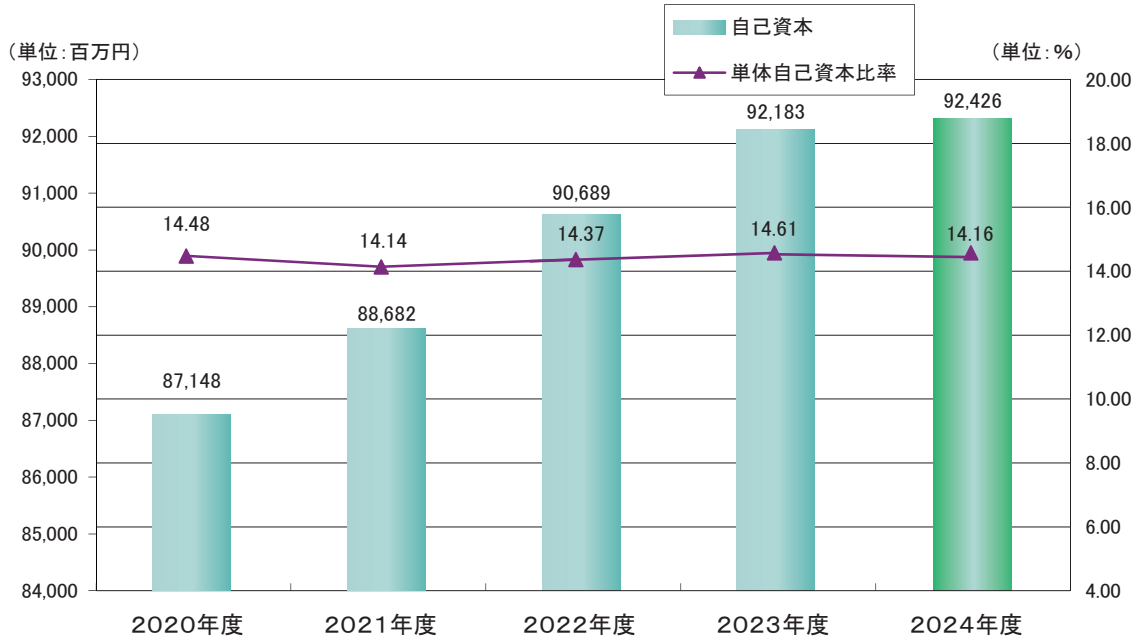
金利の上昇に伴い貯金利息は増加したものの，有価証券利息配当金や受取奨励金の増加，支払奨励金の減少により，経常利益は前期比318百万円の増益となりました。

上記の要因により，税引前当期利益は前期比318百万円の増益となりましたが，法人税等の額が前期比261百万円増加し，当期剰余金は前期比56百万円の増益となりました。



■自己資本比率の状況

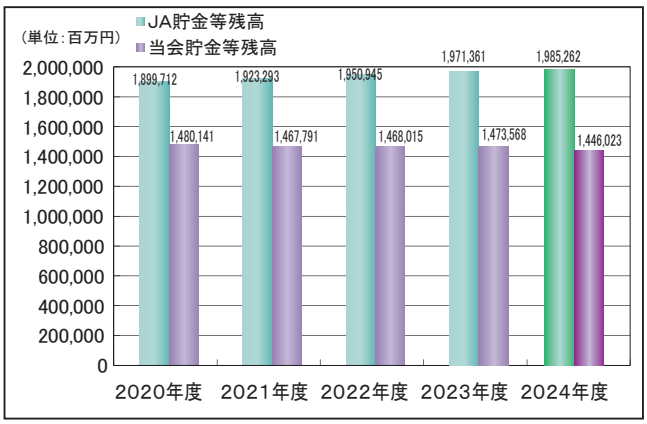
2025年３月末現在の単体自己資本比率は14.16％であり，ＪＡバンク基本方針で定める８％基準（国内基準４％）を大きく上回る，健全な自己資本を確保しています。



■貯金

2024年度の当会貯金等残高は1,446,023百万円となり，前年対比27,544百万円減少し，増加率は△1.86%となりました。

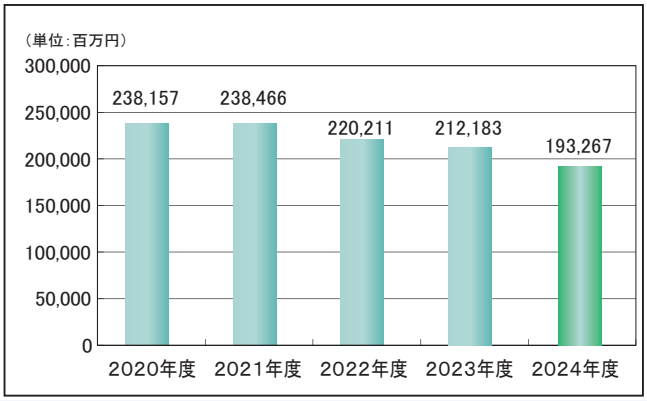
また，2024年度のＪＡ貯金等残高は，1,985,262百万円となりました。



■貸出金

2024年度の貸出金残高は193,267百万円となり，前年対比18,915百万円減少し，増加率は△8.91%となりました。

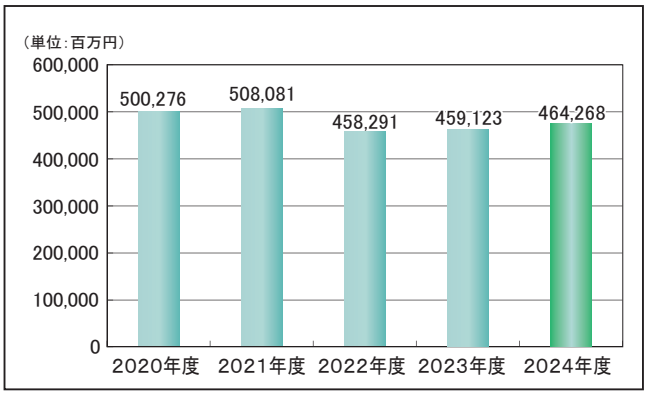
食農関連企業および農業生産法人等との取引拡大や関係構築を進めながら，関連団体との取組強化，既往取引先へのアプローチに取り組みました。



■有価証券

2024年度の有価証券残高は464,268百万円となり，前年対比5,144百万円増加し，増加率は1.12%となりました。

国内外の金利差や，日本銀行の政策金利引き上げにより，金利，株式および為替の変動幅が大きく，厳しい運用環境下，社債等の国内債券を中心に取得を行い収益の確保に取り組みました。



■不良債権の状況（資産の健全性確保）

2025年３月末現在の農協法に基づく開示債権残高は危険債権等が減少したことから4,944百万円となり，債権総額に占める不良債権比率は2.54%，保全率100.00%となっています。

（単位：百万円）

	2023年度	2024年度	増　減
債権総額 A	213,231	194,390	△ 18,841
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	282	279	△ 3
危険債権	5,066	4,664	△ 401
要管理債権	－	－	－
三月以上延滞債権	－	－	－
貸出条件緩和債権	－	－	－
開示債権総額 B	5,349	4,944	△ 404
正常債権	207,882	189,446	△ 18,436
担保保証等回収可能額 C	1,704	1,377	△ 326
貸倒引当金 D	3,644	3,566	△ 78
債権総額に占める開示債権比率 B/A	2.51%	2.54%	0.03%
保全率 (C+D)/B	100.00%	100.00%	0.00%